



高知大学学務部学務課
人文社会科学部教務係

よしかわ まり

吉川 真里さん

高知県出身。県外の大学を卒業
後、高知県内の企業に就職。

同企業で8年間働いた後、「教育
現場で社会貢献したい」という
想いで高知大学に転職。

現在4年目。

高知大学職員に なったきっかけ

大学時代は教育学部だった
ので、教育の現場で社会
に貢献できたらと思ってい
ました。また、高知県出身
なので、以前から高知県の
役に立ちたいという気持ち
もありました。民間企業で
働いていた頃、高知大学出
身の方が地域課題について
真剣に考え、さまざまな場
面で活躍していると評価さ
れることが多かったです。
そうした学生を育てる高知
大学の一員として自分も社
会貢献したいと思い、事務
職員を志しました。



人文社会科学部
Faculty of Humanities and Social Sciences
人文社会科学専攻
高知大学

一日の スケジュール

通常八時半に出勤して、
私の仕事のスケジュールで
言ったら、朝一番にメール
の確認をして、先生方や学
生さん、学外からの連絡の
対応をします。基本的に事
務室に常駐していて、窓口
に来る先生方や学生さんの
対応をする形になります。
就業時間は十七時十五分、
窓口も十七時十五分に閉め
るので、それが一日の流れ
になります。基本的な仕事
は窓口の対応をしたりと
か、履修案内を作る作業を
してたりとか、KULASのシ
ステム設定など履修登録以
外にもいろんな学生さんに
直接関わる業務を行って
います。時期にもよるので、
一例として考えてもらいた
いです。



一日の利用人数 や相談内容

普段の授業期間では一人二人だけど、履修登録期間では、二十人から三十人の学生さんが相談に来ます。履修登録期間中の相談内容は、履修登録の方法などが中心ですね。普段の授業期間中では休学の相談や教室変更で場所が分からなくなった、特例欠席の申請、授業の担当の先生と連絡を取りたいけどその先生が非常勤の先生で連絡が取れないといった相談が多いです。

このお仕事の やりがいとは？

卒業していく学生さんを見送るときや、就学に悩みを抱えていた学生さんが前向きに取り組めるようになったときにやりがいを感じますね。あとは、学部の方先生方も教室のことや学生のことなど、困ったらずは学務課に相談しに来てくれます。先生方とも交流をすることができるともやりがいですし、とても楽しいです。

やっぱり同じ大学職員でも部署によっては全然学生さんと関わることがない部署もあります。そんな中でも学務課というのは、学生さんや先生方と一番接することができ部署かなと思います。

学生への メッセージ

上級生になるとオリエンテーションへの出席率が低下しがちです。しかし、説明を聞くことで勘違いしていたことも気づけると思います。毎年きちんとカリキュラムに沿って履修出来ているか確認してもらいたいです。

学務課は学生さんの修学に関する事務的なことは大体やっているとっていただいて、何か困ったときは、とりあえず学務課の窓口相談に行ってみようという気持ちでいただけたらすごく嬉しいです。特に入学したての最初の履修登録の期間はオリエンテーションに出席したうえで、心配な点があれば来ていただきたいです。

編集後記

今回は学務課人文社会科学部教務係の吉川さんにお話を伺いました。お話から、想像以上に私たちの学生生活を支えてくださっていることがわかりました。

吉川さんに取材しようと思ったのは、メンバーが相談した際に親身になってくれたことや、学務課に親近感を持ってほしいと思ったことがきっかけです。

どこに相談すれば良いかわからないときも学務課で対応してくれます。特に一年生のころは分からないことだらけだと思います。もし困ったことがあれば気軽に相談ができるので、学務課の窓口がある共通教育一号館二階へ行ってみてください。

人文社会科学部二年中平雪菜

三年竹内紗奈

四年横部一葉

四年榊井美紅